

## 令和3年9月定例会 議会報告

世代をつなぐ  
未来をつくる



こちらのQRコードから  
SNSアカウントすべてに  
アクセスできます



その他、生活経済建設常任委員会、福祉教育常任委員会の各委員会を傍聴し、各議案の詳細や事業の全体像の把握に努めました。

今回のかとう裕太新聞では9月議会の報告をいたします。

令和3年9月香取市議会定例会が2021年8月31日から9月28日までの日程で開催されました。今定例会では15件の議案、12件の決算認定、1件の発議案等について審議されました。

9月議会では香取市の令和2年度歳入歳出決算が審議され、昨年度どのように市のお金が使われたのか、その使われ方は適法・正当だったのかがチェックされました。

かとう裕太は前定例会に引き続き、本会議場で9月9日に一般質問を行いました。また、総務企画常任委員会に副委員長として、決算審査特別委員会には委員として出席し、質疑を行いました。

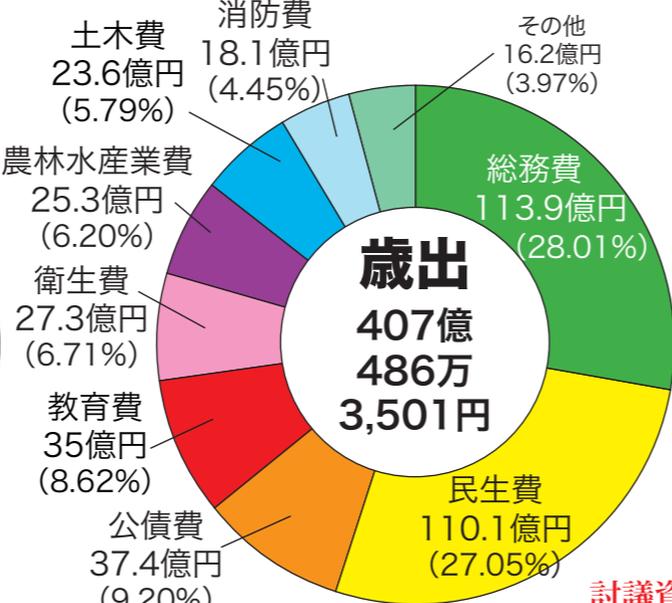
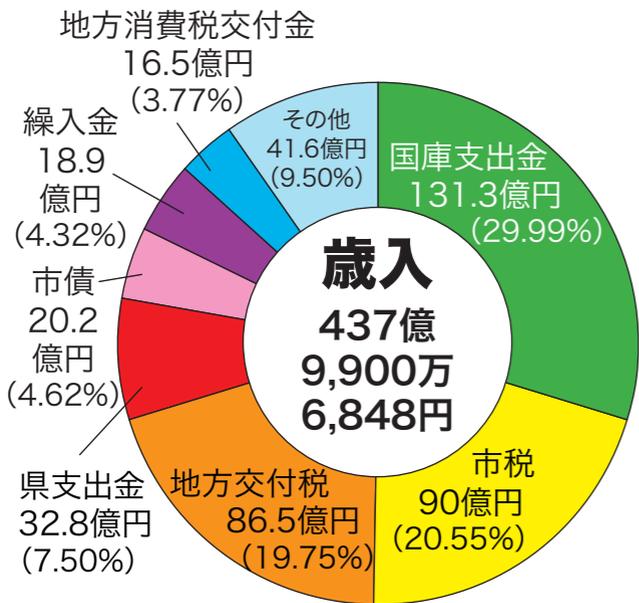
## 令和2年度香取市歳入歳出決算が認定

令和2年度香取市歳入歳出決算が認定されました。一般会計の歳入は437億9,900万6,848円で、前年度より97億6,668万8,352円、28.70%増、歳出は407億486万3,501円で、94億9,639万5,762円、30.43%増となりました。

歳入では市税の市民税は法人市民税法人税

割の税率改正等により4,439万2,320円の減となりました。歳出では総務費について、特別定額給付金給付事業により77億2,698万6,335円の増となりました。

引き続き財政の効率化を求めて参ります。



討議資料

## 9月議会で決まったこと・これから変わること

### 産婦人科施設誘致条例が制定

旧香取保健所跡地を予定地として、産婦人科の誘致を後押しするための施策が行えるようになる条例が制定されました。今後は公募型プロポーザルが行われる予定です。

### (株)成田香取エネルギーの決算状況

成田市と共同出資している(株)成田香取エネルギーの令和2年度決算は720万円の赤字となりましたが、売電収入や電気料金削減で香取市には約6,482万円の効果がありました。

### ワクチン接種の医療従事者へ慰労金

通常の医療業務等に加え、新型コロナワクチン接種に係る医療従事者の方々1,020人に10万円の慰労金が支給されます。

### 公園に健康増進遊具を設置

市内4か所の公園に幅広い年代の方々が利用できる健康増進遊具が設置されます。

### キャッシュレス決済の導入が進む

以前から一般質問等で要望してきた、キャッシュレス決済について、市役所窓口や、道の駅での利用ができるようになります。

### サイパン市と姉妹都市協定締結

これまでも交流があったサイパン市と姉妹都市協定が締結されます。今後は農業や観光、人が交流する事業等が検討されています。

### キャッシュレス決済導入に補助金

市内事業者でキャッシュレス決済を導入する方に上限20万円の補助金が支給されます。

### 中学生議会が開催

2021年10月27日に中学生議会が開催される予定です。市内中学校の14名の方々が参加し、一般質問や議会運営を行います。

## Topics

### 議会改革検討特別委員会が設置

9月28日の本会議において、議員発議で議会改革検討特別委員会が設置されました。委員会で検討される内容は、今後各会派から持ち寄られて決定されていきます。2018年に新人が9人というかたちで始まった香取市議会議員の任期も3年目に入り、これまで少しずつですが議会も変わってきていると思います。

例えば、今までは規則がなかったパソコンやタブレット端末の利用のルールがつけられ、委員会等では端末

の利用がルール上も認められるようになりました(しかし、本会議ではなぜか利用できません)。また、副委員長を務めさせていただいた、香取おみがわ医療センター附属看護専門学校のある方検討特別委員会での議論なども、これまではなかった動きなのではないかと考えます。

市民のみさんの多様な声や意見を市政に届けるのが議員の重要な役割のひとつだと考えますので、そのために香取市議会が正しい方向に進んでいけるようにして参りたいと思います。

世代をつなぐ

未来をつくる

香取市議会議員  
加藤 裕太

1987年香取市佐原生まれ。水郷保育所、佐原小、佐原中、八千代松陰高校(野球部)、慶應義塾大学法学部政治学科卒業後、石油元売会社入社。退社後、佐原駅前のかとう瓦店。京都大学大学院法学研究科法曹養成専攻修了。加藤裕太行政書士事務所代表。

2012年、香取市総合計画(後期基本計画)審議会委員として香取市のランドデザインづくりにかかわる。佐原青年会議所での活動や行政書士の仕事を通じて、行政に若い世代の声を届ける必要性を痛感。若い世代の意見を反映できるまちづくりを目指し活動中。

連絡先 かとう裕太後援会  
〒287-0003  
千葉県香取市佐原1-3340  
電話 070-4168-1635  
メール mail@yutakato.jp  
web https://yutakato.jp/



# かとう裕太の一般質問・意見

## ●かとう裕太の質問

### 1. 多様性を前提とした上で、子どもを産みやすく、育てやすく、暮らしやすいまちづくり

#### ■子育てしやすいまちの実現を

自治体の中には、子どもを産みやすく、育てやすいまちをつくることに力を入れ、上手くアピールして、**ブランド化**に成功しているところもあります。**兵庫県明石市**は、中学3年生まで**医療費無料化**や2人目からの**保育料無料化**、公共施設の入場料無料化、中学校給食費無料化など、手厚い子育て支援を行い、**子育て世帯が多く転入し、人口増、税収増を実現**しました。**思い切った政策を実行し、PRすることで、子育てするならこのまちだ、というブランド化**ができれば、子育て世代の転入も増えてくると思います。

アンケートによると、**約51%の保護者の方々が香取市を子育てしやすいまちだとは思わない、という結果**が出ています。特に**子どもの遊び場が少ない、という方が70%を超えており**、子育てしやすい環境整備が急務だと考えます。

Q1.子育て世代に香取市での子育てをPRする際の、香取市の売りや強み、アピールポイントは？

Q2.子どもの医療費や給食費、保育料等を無料化する場合、必要となる財源の規模は？

Q3.子育て関係の費用を無料にする施策の検討状況は？

Q4.子どもの遊び場の確保についての現状は？

#### ■子どもを産むことへの手厚い支援を

香取市には産科がありませんが、産婦人科誘致に向けて尽力されているところだと思います。その他、**出産祝い金やギフトの支給**、現在も行っている**不妊治療への助成**の充実など、**子どもを産むことへの支援**も重要な課題だと考えます。出産祝い金については、祝い金を充実させ合計特殊出生率2.88を達成した岡山県奈義町の例もあります。

Q5.これまでとこれからの産婦人科誘致の進め方は？

Q6.出産祝い金の給付やギフト支給等の検討状況は？

Q7.2022年4月から不妊治療が公的医療保険の対象となると負担が増えるケースもあるが、対応の検討状況は？

#### ■多様な価値観を尊重できるまちづくりを

子どもを産みやすく、育てやすく、暮らしやすいまちをつくるためには、前提として、**多様な価値観を持つ方々が暮らしやすく、居場所があるまちをつくる**ことが必要だと考えます。子育てをしていて、周りや違うことに不安を抱く方々もいらっしゃると思います。そういったときに、**多様性を認められる環境**ができていれば、**子育てがしやすいまちだと思ってもらえる**のではないかと考えます。

Q8.多様な価値観を持つ方々が暮らしやすいまちをつくるために、香取市としてはこれまでどういったビジョンを持って、どういった取り組みをされてきたのでしょうか。また、今後どういった取り組みをされていくのでしょうか。

## ●答弁

A1.平成31年4月に開設した子育て世代包括支援センターでの妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援のための総合的な相談事業と、早くから取り組んだ高校生世代までを対象としている子ども医療費の助成事業がアピールポイント。

A2.今年度の予算ベースでは、子ども医療費で約3千万円、給食費で約2億4千万円、保育料で約1億2千万円が必要。

A3.経済的負担の軽減は、これまでも検討しているが、**住民福祉施策における給付と負担は対をなすものであり、その水平バランスから新たな施策を打ち出すことは難しい状況**にある。

A4.現在建設中の佐原駅周辺地区複合公共施設の中に子育て世代支援施設を設置する。**児童書架や遊具を設置した屋内多目的広場**などを配置し、親子で自由に遊べる場所を提供。また、**就学前児童の一時預かりサービス**も実施する。

A5.医師の招聘に取り組んできたが、**難しい状況**。市場調査を実施し、アンケート調査で進出に前向きな事業者にはヒヤリングを実施。市の内部に**プロジェクトチーム**を発足した。今後は本議会で議決後に**公募型プロポーザル方式**により進める。

A6.乳児の紙オムツ助成事業を検討したことがある。しかし、市にとって、より子育て支援に必要なものとして、**子ども医療費助成の高校生世代までの維持継続や保育所の発達支援体制強化、子育て世代包括支援センターの相談体制充実**などを優先させ、子育て世代に優しいまちを目指している。

A7.市では千葉県が助成していない人工授精等の一般不妊治療を対象に助成。年内に不妊治療の保険適用の対象範囲が決定される予定。今後、県の動向をみながら市の助成内容を検討する。

A8.地域社会を取り巻く環境や多くの課題が顕在化し、**個人の価値観やライフスタイルも、ますます複雑・多様化**している。多様な個人が暮らしやすいまちづくりを具体的に進めるには、**多様な主体が、ともに立場や価値観を尊重し、支え合う社会を構築する必要**があり、舵取り役の香取市としては、意識啓発を図りつつ、市民協働による地域づくりの取組を一層拡充し、第2次香取市総合計画で掲げた将来都市像の実現に取り組んでいく。

## 2. 災害対策・安心安全なまちづくり

### ■安心して学校に通える安全な通学路の整備を

**通学路の安全確保**については、以前の一般質問でも伺いましたが、八街市での事故を受けて、**香取市内の通学路も総点検する必要がある**のではないかと考えます。

Q9.今年度の香取市通学路交通安全プログラムによる通学路点検の実施状況と今後の対応は？

Q10.徹底的な総点検や安全対策の強化策の実施は？

## 3. 新型コロナワクチンの接種

### ■これまでの接種状況の評価

医療関係者や担当者のみなさんのおかげで、ワクチン接種は着実に進んでいます。毎日接種実績をwebサイトやtwitterに掲載し、**データとしてわかりやすく情報提供**をされています。こういった**市の事業をわかりやすく目に見えるようにする取り組みは重要**ですので、いろいろな分野で行っていただきたいと思います。その一方で予約が取れない、接種が遅い、という声もいただいています。

Q11.これまでの進捗状況を計画と比べた際の評価は？

### ■ワクチンパスポートやインセンティブの活用を

今後、多くの方々がワクチンを接種すると、**接種率が伸び悩む段階**がくると考えます。**さらに多くの方々に接種をしていただくための方策**を、今から考えていく必要があると考えます。6月議会の一般質問で触れた、**ワクチンパスポート**については、7月26日から自治体での申請受付が始まりました。また、自治体によっては、**接種にインセンティブ**を付与するところも増えてきています。

Q12.ワクチンパスポートの申請・交付件数は？

Q13.ワクチンパスポートや接種済証活用の検討状況は？

Q14.インセンティブ付与についての検討状況は？

## ●かとう裕太の意見

### ■戦略的な事業の実施と丁寧な説明を

今回は子どもを産みやすく、育てやすく暮らしやすいまちづくり、安心安全なまちづくり、新型コロナワクチンの接種について伺いました。**子育て支援**については、財源の制約もありますが、**戦略的に思い切った施策を実行し、PR**することで、**子育てするならこのまちだ、というブランドイメージ**を持っていただけるようにすることが重要だと考えます。それとともに、**多様な価値観を持つ方々が暮らしやすい環境の整備**が必要です。お子さん方は一人ひとり違いますし、保護者の方々もみんな違います。子育てをしていて、不安になることもあると思います。そういった時に、このまちなら多様性を認めてもらえる、いろんな価値観があつていいんだ、と思ってもらえるようになっていけば、**子育てをする方々にも自分たちの居場所があるから子育てがしやすい**、と思ってもらえますし、**お子さん方も成長の過程で他者の多様性を尊重でき、自分自身も大切に成長してもらおうことにつながっていく**のではないかと考えます。

香取市の現在行っている事業、そしてこれから行われていく事業は、一定の**戦略**にもとづいて立案されていると思います。私は予算書や決算書、計画やそれらに関連する資料を読むのが割と好きなのですが、いろいろ読んでみると、それらに

A9.事故を受け、6月に再度全小学校に一齐点検を指示し、43箇所危険箇所があげられた。すべて検討後、**現地確認が必要な20箇所の合同点検を実施**。危険箇所43箇所の内17箇所は年度内に対応。**ガードパイプやラバーポールの設置、路面表示や看板設置等の安全対策**を決定した。それ以外の箇所も継続して実施に向け努力する。

A10.関係課・機関と連携し、**危険箇所の把握と安全対策を推進**。学校で**安全マップ**を作成することにより通学路の危険箇所の把握を行う。すぐに対応できない箇所は、**通学路の見守り等、地域の方々の協力を得ながら安全対策**に取り組む。

A11.当初計画は、11月頃までには希望する方の接種が完了する予定だった。9月8日現在香取市の対象者全体の1回目の接種率は64.97%となっており、**全国平均、千葉県平均と比べ接種率は上回っており、概ね順調にワクチン接種は進んでいる**と言える。今後10月10日までに1回目の接種が完了すれば、**10月末までに全対象者の8割の方が2回目の接種も完了見込み**。香取郡市医師会の協力もあり、**接種体制を拡充**できたことで、**前倒しの接種が可能**となったことが大きな要因。

A12.8月31日現在、**申請及び交付件数は32件**。

A13.今後の**国・県の動向を注視し、検討**する。

A14.接種率の鈍化傾向が見られた場合は、**接種実績から傾向を分析の上、他市の効果的な取り組み等を研究し、必要であれば検討**する。

記載されている**事業の関連性や考え方**などが少しずつイメージできるようになってきます。こういった考え方があつて、こういった予算が組まれて、お金が使われていくんだ、ということが自分なりに理解はできるのですが、**もったいないと思うのは、そういった戦略や考え方がなかなか市民のみなさんには伝わっていないのではないか**、ということです。まずは事業をご説明いただく際に、その**背景にある戦略や考え方をあわせて市民のみなさんにお伝えして、丁寧に説明していただく**、といったことを今よりもさらに徹底していくことから始めていくのはいかがでしょうか。そうすればさらに**市民のみなさんに香取市の事業や想いが伝わっていく**のではないかと考えます。

### ●詳細は公式サイトや録画から

かとう裕太公式サイト 香取市議会録画中継  
<https://yutakato.jp/> <https://bit.ly/YK202106>

